



Hewlett Packard
Enterprise

HPE ProLiant Gen10 サーバーおよび HPE Synergy 用 UEFI 設定クイックリファレンスガイド

摘要

このガイドでは、UEFI システムユーティリティのメニューオプションをリストし、それらについて説明します。簡単に参照できるように、情報はアルファベット順に表示されています。

部品番号: 881330-195
発行: 2019 年 3 月
版数: 1

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Microsoft[®] および Windows[®] は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Intel[®]、インテル、Itanium[®]、Pentium[®]、Intel Inside[®]、および Intel Inside ロゴは、インテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。

UEFI[®] は UEFI Forum, Inc. の登録商標です。

Linux[®] は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

目次

UEFI システムユーティリティのオプションと設定.....	4
Web サイト.....	28
サポートと他のリソース.....	29
Accessing Hewlett Packard Enterprise Support.....	29
アップデートへのアクセス.....	29
カスタマーセルフリペア (CSR)	30
リモートサポート (HPE 通報サービス)	30
保証情報.....	30
規定に関する情報.....	30
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	31

UEFI システムユーティリティのオプションと設定

次の表に、UEFI システムユーティリティで使用可能な各オプションをアルファベット順に記載します。また、システムユーティリティのメイン画面からオプションへのメニューパス、オプションの使用方法についての簡潔な説明、および使用可能な設定（該当する場合）についても記載します。

- ① **重要:** UEFI システム構成オプションは、ご使用のシステムにインストールされているプラットフォームおよび独自のコンポーネントによって異なります。したがって、ここに記載されているオプションの中には、ご使用のシステムでは表示されないものがある可能性があります。各オプションについて詳しくは、UEFI システムユーティリティユーザーガイドを参照してください。

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
ACPI SLIT 優先	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > I/O オプション	Advanced Configuration and Power Interface System Locality Information Table (ACPI SLIT) を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> 有効 無効
Active Health System ログ (AHS)	内蔵アプリケーション > Active Health System ログ	AHS ログをダウンロードします。	直近 7 日間のログをダウンロードします。
iSCSI ブート試行を追加	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ネットワークオプション > iSCSI ブート構成 > iSCSI ブート試行を追加	iSCSI ブートターゲットを構成します。	なし
ブートオプションの追加	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ブートオプション > UEFI ブート設定 > ブートオプションの追加	UEFI ブート順序リストに x64 UEFI アプリケーションを追加します。	なし
内蔵 UEFI シェルをブート順序に追加	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 内蔵 UEFI シェル > 内蔵 UEFI シェルをブート順序に追加	次の再起動時に、内蔵 UEFI シェルを UEFI ブート順序リストのエントリとして追加します。	<ul style="list-style-type: none"> 有効 無効
隣接セクターのプリフェッチャー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > プロセッサプリフェッチャーオプション > 隣接セクターのプリフェッチャー	隣接セクターのプリフェッチ機能を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> 有効 無効
管理者情報	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > サーバー資産情報 > 管理者情報	サーバー管理者の連絡先情報を指定します。	なし

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
コントローラーの詳細設定	システム構成 > <controller> > コントローラー設定の構成 > コントローラーの詳細設定	Smart Array デバイスの詳細設定を変更します。	デバイスによって異なる。
アドバンストデバッグオプション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンストオプション > アドバンストデバッグオプション	デバッグの出力レベルと POST ブート進捗状況メッセージを制御します。	構成に応じて異なる
Advanced Memory Protection。アドバンストメモリプロテクション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプション > アドバンストメモリプロテクション	ECC (エラー検出および訂正) を使用して高度なメモリ保護を構成できます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ HPE ファーストフォルトトレラント (ADDDC) ・ アドバンスト ECC サポート ・ アドバンスト ECC サポート付きオンラインスペア ・ アドバンスト ECC サポート付きミラーメモリ
アドバンスト PCIe 構成	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > PCIe デバイス構成 > アドバンスト PCIe 構成	PCIe リソースが NVMe ドライブの PCIe ホットアドをサポートするように、また PCI Express デバイスが最大速度で稼働できるように構成します。	構成に応じて異なる。
アドバンストパフォーマンスチューニングオプション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > アドバンストパフォーマンスチューニングオプション	電力、温度、アクティブコアに基づいて周波数を変化させる技術による、プロセッサ周波数の変化を監視および操作します。	構成に応じて異なる。
アドバンストセキュアブートオプション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > セキュアブート設定 > アドバンストセキュアブートオプション	交換キーおよび署名データベースのオプションを管理します。	構成に応じて異なる。
AMD コアパフォーマンスブースト	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) 電力およびパフォーマンスオプション > AMD コアパフォーマンスブースト	プロセッサが使用できる電力に余裕があり、温度が仕様内である場合に、定格よりも高い周波数にプロセッサを移行するかどうかを制御します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
AMD I/O 仮想化	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 仮想化オプション > AMD IOMMU	AMD I/O Virtualization (IOMMU)機能によって提供されたハードウェア機能を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
AMD インターリーブ	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプション > AMD Memory Interleaving	メモリシステム構成のインターリーブのレベルを変更できます。通常、メモリインターリーブを自動化するとパフォーマンスが最大になります。	<ul style="list-style-type: none"> ・ チャンネルインターリーブ ・ ダイインターリーブ ・ ソケットインターリーブ
AMD ページテーブルエントリーの投機的ロックスケジューリング	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > プロセッサオプション > AMD ページテーブルエントリーの投機的ロックスケジューリング	AMD ページテーブルエントリーの投機的ロックスケジューリング機能を構成します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
AMD Performance Determinism オプション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > プロセッサオプション > Performance Determinism	ワークロード要件に合わせて、電力またはパフォーマンスを最大限に高めるようプロセッサを構成します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ Power Deterministic ・ Performance Deterministic
AMD セキュアメモリ暗号化	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプション > AMDAMD セキュアメモリの暗号化	AMD セキュアメモリの暗号化機能を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
AMD SMT オプション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > プロセッサオプション > AMD SMT オプション	AMD 同時マルチスレッド機能を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
AMD 仮想化オプション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 仮想化オプション > AMD 仮想化テクノロジー	AMD VT によって提供されるハードウェア機能を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
セキュアブートの試行	システム構成 BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > セキュアブート設定 > セキュアブートの試行	ブートプロセス中に起動した各コンポーネントにデジタル署名が付けられ、この署名が UEFI BIOS に内蔵された信頼済み証明書のセットと照合されて検証されることを確認します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
ASR ステータス	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > サーバー可用性 > ASR ステータス	自動サーバー復旧 (ASR) を有効または無効にします。ASR は、サーバーがロックアップした場合にサーバーを自動的に再起動します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
ASR タイムアウト	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > サーバー可用性 > ASR タイムアウト	ASR ステータスが有効になっている場合は、オペレーティングシステムのクラッシュ時またはサーバーのロックアップ時にサーバーを再起動するまでの待ち時間を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5分 ・ 10分 ・ 15分 ・ 20分 ・ 30分
自動電源オン	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > サーバー可用性 > 自動電源オン	AC 電源がシステムに接続されたときにサーバーの電源を自動的にオンにする方法を構成します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常に電源をオン ・ 常に電源をオフ ・ 最後の電源状態を復元
バックアップ ROM イメージの認証	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > バックアップ ROM イメージの認証	起動時のバックアップ ROM イメージの暗号化認証を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
ブートモード	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ブートオプション > ブートモード	システムのブートモードを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ UEFI モード ・ レガシ BIOS モード
ブート順序ポリシー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ブートオプション > ブート順序ポリシー	UEFI ブート順序リストに従ってデバイスのブートを試みたときにブート可能なデバイスが見つからない場合に、システムの動作を制御します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブート順序を無限に再試行 ・ ブート順序を 1 回試行 ・ ブート試行の失敗後リセット
チャネルインターリーブ	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプション > チャネルインターリーブ	電力プロファイルをカスタムに設定している場合、高レベルのメモリーインターリーブを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
構成のクリア	システム構成 > <controller> > コントローラー設定の構成 > 構成のクリア	アレイ構成やパーティション情報など、コントローラーのメタデータを削除します。	<ul style="list-style-type: none"> すべてのアレイ構成の削除 すべての物理ドライブの RIS の削除
協調電力制御	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > 協調電力制御	電力プロファイルがカスタムに設定されている場合、プロセッサクロッキングコントロール (PCC) インターフェイスをサポートしているオペレーティングシステムに対する協調電力制御を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> 有効 無効
コントローラー設定の構成	システム構成 > <controller> > コントローラー設定の構成	バックアップ電源のステータスを表示します。	なし
一貫性のあるデバイスの名前付け	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンスドオプション > 一貫性のあるデバイスの名前付け	デバイスの名前付けのレベルを指定します。これにより、システム内の NIC ポートの位置に基づく NIC ポートの名前付けを制御します。	<ul style="list-style-type: none"> LOM およびスロットの CDN サポート LOM のみの一貫性のあるデバイスの名前付け 無効

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
アレイの作成	システム構成 > <controller> > アレイ構成 > アレイの作成	ドライブを選択し、RAID レベルを指定し、アレイ設定を構成します。	電源モード <ul style="list-style-type: none"> RAID レベル 論理ドライブの設定 <ul style="list-style-type: none"> 論理ドライブのラベル ストリップサイズ/フルストリップサイズ トラックあたりのセクター数 Size ユニットサイズ 高速化の方法 省電力 サバイバルモード
論理ドライブの作成	システム構成 > <controller> > アレイ構成 > アレイの管理 > <array> > 論理ドライブのリスト > 論理ドライブの作成	論理ドライブの値を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> 論理ドライブのラベル ストリップサイズ/フルストリップサイズ トラックあたりのセクター数 Size ユニットサイズ 高速化の方法
カスタム POST メッセージ	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > サーバー資産情報 > カスタム POST メッセージ	サーバーの POST 処理中に ProLiant POST 画面に表示するカスタムメッセージを指定します。	なし
日付と時刻	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 日付と時刻	システムによって表示される日時を指定します。	なし

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
DCU IP プリフェッチャー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > プロセッサプリフェッチャーオプション > DCU IP プリフェッチャー	DCU IP のプリフェッチ機能を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
DCU ストリームプリフェッチャー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > プロセッサプリフェッチャーオプション > DCU ストリームプリフェッチャー	DCU ストリームのプリフェッチ機能を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
デフォルトの UEFI デバイス優先順位	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムデフォルトオプション > デフォルトの UEFI デバイス優先順位	デフォルトのシステム設定が復元されるときに使用される UEFI デバイスの優先順位を変更します。	なし
アレイの削除	システム構成 > <controller> > アレイ構成 > アレイの管理 > <array> > アレイの削除	アレイ上のすべての論理ドライブとアレイの一部である論理ドライブ上のすべてのデータを削除します。	削除
ブートオプションの削除	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ブートオプション > UEFI ブート設定 > ブートオプションの削除	UEFI ブート順序リストから x64 UEFI アプリケーションを削除します。	なし
iSCSI ブート試行を削除	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ネットワークオプション > iSCSI ブート構成 > iSCSI ブート試行を削除	1つ以上の iSCSI ブートターゲットを削除します。	なし
論理ドライブの削除	システム構成 > <controller> > アレイ構成 > アレイの管理 > <array> > List Logical Devices > <logical drive> > 論理ドライブの削除	論理ドライブと論理ドライブ上にあるすべてのデータを削除します。	削除
デバイス情報	システム構成 > <controller> > ディスクユーティリティ > <disk> > デバイス情報	ディスクデバイス情報を表示します。	デバイスによって異なる。
DHCP を使用したシェル自動起動スクリプトの検出	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 内蔵 UEFI シェル > DHCP を使用したシェル自動起動スクリプトの検出	シェルで DHCP を使用した起動スクリプトの URL の検出を有効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
動的消費電力上限機能	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > ブート時間最適化 > 動的消費電力上限機能	ブートプロセス中にシステム ROM がいつ電力較正を実行するかを構成します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動 ・ 有効 ・ 無効

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
論理ドライブの編集	システム構成 > <controller> > アレイ構成 > アレイの管理 > <array> > List Logical Devices > <logical drive> > 論理ドライブの編集	論理ドライブの設定を変更します。	<ul style="list-style-type: none"> 高速化の方法 論理ドライブのラベル
内蔵シリアルポート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > シリアルポートオプション > 内蔵シリアルポート	選択した物理シリアルポートに、論理COMポートアドレスと関連デフォルトリソースを割り当てます。	<ul style="list-style-type: none"> COM 1: IRQ4: I/O: 3F8h-3FFh COM 2: IRQ3: I/O: 2F8h-2FFh 無効
内蔵ストレージブートポリシー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ストレージオプション > 内蔵ストレージブートポリシー	内蔵ストレージコントローラーにUEFI BIOSブートターゲットを選択します。	<ul style="list-style-type: none"> すべてのターゲットを起動 3つのターゲットに起動を制限 ターゲットで起動なし
内蔵UEFIシェル (有効化/無効化)	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 内蔵UEFIシェル > 内蔵UEFIシェル	内蔵UEFIシェルを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> 有効 無効
内蔵UEFIシェル (起動)	内蔵アプリケーション > 内蔵UEFIシェル	内蔵UEFIシェルを起動します。	なし
内蔵ビデオ接続	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンスドオプション > 内蔵ビデオ接続	内蔵ビデオ接続に外部ビデオ接続を構成します。	<ul style="list-style-type: none"> 自動 常に無効 常に有効
プロセッサごとの有効なコア	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > プロセッサオプション > プロセッサごとの有効なコア	インテルコアマルチプロセッシング (CMP) テクノロジーを使用して各プロセッサソケットで有効にするコアの数を指定します。	コア数
エネルギー効率ターボ	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > エネルギー効率ターボ	プロセッサがポリシーベースのエネルギー効率を使用するかどうかを制御します。	<ul style="list-style-type: none"> 有効 無効

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
エネルギー/パフォーマンスバイアス	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > エネルギー/パフォーマンスバイアス	電力プロファイルをカスタムに設定している場合、複数のプロセッササブシステムを構成して、プロセッサのパフォーマンスと電力使用を最適化します。	<ul style="list-style-type: none"> 最大パフォーマンス パフォーマンスの最適化 電力の最適化 パワーセービングモード
システムを終了して再起動	システムユーティリティのメイン画面	システムユーティリティを終了して、ブートプロセスを再開します。	なし
拡張周囲温度サポート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンスドオプション > ファンと温度のオプション > 拡張周囲温度サポート	通常サポートされる温度よりも高い周囲温度でサーバーが動作することを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> 無効 周囲温度 40c に対応 (ASHRAE 3) 周囲温度 45c に対応 (ASHRAE 4)
拡張メモリテスト	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > ブート時間最適化 > 拡張メモリテスト	メモリの初期化プロセス時にシステムが拡張メモリテストを実行するかどうかを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> 有効 無効
ファン故障ポリシー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンスドオプション > ファンと温度のオプション > ファン故障ポリシー	ファンの障害によって、稼働に必要なファンがサーバーからなくなったときのサーバーの対応方法を構成できます。	<ul style="list-style-type: none"> 重大なファン故障時にシャットダウン/停止 重大なファン故障時に稼働許可
ファン設置要件	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンスドオプション > ファンと温度のオプション > ファン設置要件	すべての必要なファンが取り付けられていない場合のサーバーの対応方法を構成します。	<ul style="list-style-type: none"> メッセージング有効 メッセージング無効
ファイバーチャネル/FCoE スキャンポリシー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ストレージオプション > ファイバーチャネル/FCoE スキャンポリシー	有効な FC/FCoE (または、SAN からのブート) ブートターゲットのスキンのためのデフォルトのポリシーを変更します。	<ul style="list-style-type: none"> すべてのターゲットをスキャン 構成済みターゲットのみスキャン

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
ファームウェアの更新	内蔵アプリケーション > ファームウェアの更新	システム BIOS、NIC、ストレージカードなどのシステムのファームウェアコンポーネントをアップデートします。	なし
HTTP サポート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ネットワークオプション > ネットワークブートオプション > HTTP サポート	HTTP ブートオプションをブート順序リストに追加します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動 ・ HTTP のみ ・ HTTPS のみ
高精度イベントタイマー (HPET) ACPI サポート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンスドオプション > 高精度イベントタイマー (HPET) ACPI サポート	高精度イベントタイマー (HPET) テーブルおよび ACPI のデバイスオブジェクトを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
HW プリフェッチャー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > プロセッサプリフェッチオプション > HW プリフェッチャー	インテルプロセッサを搭載するサーバーでのプロセッサプリフェッチ機能を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
デバイスの確認 (アレイ)	システム構成 > <controller> > アレイ構成 > アレイの管理 > <array> > Identify Device	LED を点滅させ、ドライブを物理的に識別します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開始 ・ Stop
デバイスの確認 (ディスク)	システム構成 > <controller> > ディスクユーティリティ > <disk> > Identify Device	LED を点滅させ、ドライブを物理的に識別します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開始 ・ Stop
iLO5 構成ユーティリティ	システム構成 > iLO5 構成ユーティリティ > ネットワークオプション	iLO 5 構成のネットワークオプションを管理します。	このユーティリティに関するすべての設定のリストについては、完全版のユーザーガイドを参照してください。
IMC インターリーブ	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプション > メモリコントローラーインターリーブ	このオプションを使用してメモリコントローラーインターリーブオプションを制御します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動 (推奨) ・ 無効
インテグレートッドマネジメントログ (IML)	内蔵アプリケーション > インテグレートッドマネジメントログ	IML を表示または消去します。	なし

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
インテル DMI リンク周波数	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > インテル DMI リンク周波数	プロセッサとサウスブリッジ間のリンク速度を遅い速度になるように設定します。	<ul style="list-style-type: none"> Gen1 速度 Gen2 速度
Intel SGX 制御オプション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > プロセッサオプション > Intel SGX Control	Intel SGX 制御オプションを構成します。	<ul style="list-style-type: none"> Intel Software Guard Extensions Intel Speed Select ソフトウェア制御 PRMRR サイズ オーナーエポック入力タイプの選択 SGX ローンチコントロールポリシー SGX LE 公開キーハッシュ
Intelligent Provisioning (F10 プロンプト)	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 、サーバーセキュリティ > Intelligent Provisioning (F10 プロンプト)	ユーザーが ProLiant の POST 画面から F10 キーを押して Intelligent Provisioning にアクセスできるようにするかどうかを制御します。	<ul style="list-style-type: none"> 有効 無効
インテル NIC DMA チャンネル (IOAT)	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > パフォーマンスオプション > I/O オプション > インテル NIC DMA チャンネル (IOAT)	インテル NIC 上での DMA アクセラレーションを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> 有効 無効
インテル Performance Counter Monitor	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > インテル Performance Counter Monitor	インテル Performance Counter Monitor を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> 有効 無効
インテル(R)バーチャライゼーションテクノロジー (Intel VT)	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 仮想化オプション > インテル(R)バーチャライゼーションテクノロジー (Intel VT)	仮想化テクノロジーをサポートする Virtual Machine Manager (VMM) で、UEFI インテルプロセッサによって提供されるハードウェア機能を利用できるようにするかどうかを制御します。	<ul style="list-style-type: none"> 有効 無効

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
インテル(R)ハイパースレッディングオプション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > プロセッサオプション > インテル(R)ハイパースレッディングオプション	インテルハイパースレッディングテクノロジーをサポートするプロセッサ上の論理プロセッサコアを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
インテル(R)ターボブーストテクノロジー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > インテル(R)ターボブーストテクノロジー	プロセッサが使用できる電力に余裕があり、温度が仕様内である場合に、定格よりも高い周波数にプロセッサを移行するかどうかを制御するインテルターボブーストテクノロジーを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
Intel (R) TXT サポート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > urity > Intel (R) TXT Support	インテルプロセッサを搭載するサーバーでの Intel TXT (Trusted Execution Technology) のサポートを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
Intel (R) VT-d	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 仮想化オプション > Intel (R) VT-d	Virtual Machine Manager (VMM) でダイレクト I/O (VT-d) 対応のインテル仮想化テクノロジーを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
内部 SD カードスロット	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > USB オプション > 内蔵 SD カードスロット	内部 SD (Secure Digital) カードスロットを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
I/O オプション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > I/O オプション	I/O オプションを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
iSCSI イニシエーター名	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > I/O オプション	iSCSI 修飾名 (IQN) フォーマットを使用して iSCSI イニシエーターの名前を設定します。EUI フォーマットはサポートされません。	一意の名前

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
iSCSI ポリシー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ネットワークオプション > ネットワークブートオプション > iSCSI ポリシー	構成されている NIC ポートで iSCSI ブートに使用するイニシエーターを制御します。	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアイニシエーター アダプターイニシエーター
IPv6 DHCP ユニーク識別子	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ネットワークオプション > ネットワークブートオプション > IPv6 DHCP ユニーク識別子	IPv6 DHCP ユニーク識別子 (DUID) の設定方法を制御します。	<ul style="list-style-type: none"> 自動 DUID-LLT
iSCSI 試行	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ネットワークオプション > iSCSI ブート構成 > iSCSI 試行	iSCSI ブート試行の詳細を表示します。	なし
レガシ BIOS ブート順序	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ブートオプション > レガシ BIOS ブート順序	サーバーがレガシ BIOS ブート順序リスト内 OS ブートファームウェアを検索する順序を変更します。	なし
ローカル/リモートしきい値	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > ローカル/リモートしきい値	ローカル/リモートしきい値を無効にするか、設定します。	<ul style="list-style-type: none"> 無効 低い 中 高い
論理ドライブの詳細	システム構成 > <controller> > アレイ構成 > アレイの管理 > <array> > 論理ドライブのリスト > 論理ドライブの詳細	論理ドライブの詳細が表示されます。	デバイスによって異なる。
電源設定の管理	システム構成 > <controller> > コントローラー設定の構成 > 電源設定の管理	電力およびサバイバルモードを設定します。	<p>電源モード</p> <ul style="list-style-type: none"> 最大パフォーマンス (デフォルト) バランス 省電力 <p>サバイバルモード</p>
スペアドライブの管理	システム構成 > <controller> > アレイ構成 > アレイの管理 > <array> > スペアドライブの管理	スペアドライブを割り当て、論理ドライブで障害が発生したドライブを交換します。	<ul style="list-style-type: none"> 専用スペアの割り当て 自動交換スペアの割り当て

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
最大メモリバス周波数	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプション > 最大メモリバス周波数	電力プロファイルがカスタムに設定されている場合、取り付けられているプロセッサ/DIMM の構成でサポートされているよりも低い最高速度でメモリが動作するように構成できます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動 ・ 1333 MHz ・ 1600 MHz ・ 1867 MHz ・ 2133 MHz ・ 2933
最大 PCI Express 速度	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > PCIe デバイス構成 > アドバンスド PCIe 構成 > 最大 PCI Express 速度	電力プロファイルがカスタムに設定されている場合、PCI Express デバイスがサーバーで稼働できる最大 PCI Express 速度を下げます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポートあたりの制御 ・ PCIe Generation 1.0
ウォームリセット時のメモリ消去	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ブート時間最適化 > ウォームリセット時のメモリ消去	ウォームリセット時にメモリを消去するタイミングを構成します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
メモリファーストトレーニング	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > ブート時間最適化 > メモリファーストトレーニング	サーバーの再起動時のメモリトレーニングを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
メモリミラーリングモード	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプション > メモリミラーリングモード	ミラーリングのために予約しておく使用可能なシステムメモリの合計容量を構成します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ フルミラー ・ パーシャルミラー (4GB 超の 20%) ・ パーシャルミラー (4GB 超の 10%) ・ パーシャルミラー (4GB 未満のメモリ) ・ パーシャルミラー (OS による構成)
メモリ巡回スクラビング	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプション > メモリミラーリングモード	一定のシステム実行時間が経過すると、マルチビットエラーおよび訂正不能なエラーの発生が減少するようにメモリのソフトエラーを修正します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
I/O のメモリ近接関係レポート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > I/O オプション > I/O のメモリ近接関係レポート	I/O デバイスと、オペレーティングシステムのシステムメモリとの間の近接関係をシステム ROM がレポートするかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> 有効 無効
メモリリフレッシュレート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプション > メモリリフレッシュレート	メモリコントローラーのリフレッシュレートを調整しますが、これはサーバーのメモリのパフォーマンスと耐障害性に影響する場合があります。	<ul style="list-style-type: none"> 1x リフレッシュ 2x リフレッシュ
メモリの再マップ	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプション > メモリの再マップ	障害イベントのために無効にされたシステムメモリを再マップします。	<ul style="list-style-type: none"> すべてのメモリを再マップ 操作なし
最小プロセッサアイドル電力コア C ステート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > 最小プロセッサアイドル電力コア C ステート	電源プロファイルがカスタムに設定されている場合、オペレーティングシステムが使用する、プロセッサの最小アイドル電力 (C ステート) を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> C6 ステート C3 ステート C1E ステート C ステートなし
最小プロセッサアイドル電力パッケージ C ステート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > 最小プロセッサアイドル電力パッケージ C ステート	電力プロファイルをカスタムに設定している場合、最小のプロセッサアイドル電力ステート (C ステート) を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> パッケージ C6 (リテンション) ステート パッケージ C6 (リテンションなし) ステート パッケージステートなし
混合電源装置レポート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンスドオプション > 混合電源装置レポート	混合電源装置構成が存在する場合にサーバーがメッセージを記録するかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> 有効 無効
コントローラー設定の変更	システム構成 > <controller> > コントローラー設定の構成 > コントローラー設定の変更	Smart Array デバイスの設定を変更します。	デバイスによって異なる。

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
ネットワークブートオプション(特定のNIC用)	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ネットワークオプション > ネットワークブートオプション	取り付けられたNICのネットワークブートを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークブート 無効
ネットワークブートリトライサポート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ネットワークオプション > ネットワークブートオプション > ネットワークブートリトライサポート	ネットワークブートリトライ機能を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> 有効 無効
シェルの自動開始スクリプトのネットワーク上の位置	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 内蔵 UEFI シェル > シェルの自動起動スクリプトのネットワーク上の位置	UEFI シェル起動スクリプトのネットワークの URL の場所を設定します。	なし
ノードインターリーブ	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプション > ノードインターリーブ	プロセッサ間でのメモリアンターリーブを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> 有効 無効
NUMA グループサイズ最適化	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > NUMA グループサイズ最適化	システム ROM が NUMA (Non-uniform Memory Access) ノード内の論理プロセッサ数をレポートする方法を構成します。	<ul style="list-style-type: none"> クラスター構成 フラット
NVDIMM メモリアンターリーブ	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリ操作 > NVDIMM メモリオプション NVDIMM-N メモリアンターリーブ	特定のプロセッサに取り付けられている NVDIMM-N がメモリマップ内の他の NVDIMM-N とインターリーブされることを有効にします。	<ul style="list-style-type: none"> 有効 無効
NVDIMM-N オプション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > メモリ操作 > NVDIMM メモリオプション > NVDIMM-N オプション	NVDIMM-N メモリオプションを構成します。	オプションに基づいて変化します。
次の再起動時のポリシーに NVDIMM-N サニタイズ/消去	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > メモリ操作 > NVDIMM メモリオプション > 次の再起動時のポリシーに NVDIMM-N サニタイズ/消去	NVDIMM のサニタイズのためのオプションを構成します。	構成に応じて異なる
内蔵 NVM Express オプション ROM	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ストレージオプション > NVM Express オプション > 内蔵 NVM Express オプション ROM	内蔵 NVM Express オプション ROM オプションを使用して、NVM Express オプション ROM がロードされる方法を制御します。	<ul style="list-style-type: none"> 有効 無効

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
NVM Express ドライブの撤去	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ストレージオプション > NVM Express オプション > NVM Express ドライブ撤去オプション	次のオプションを使用して、NVM Express ドライブを撤去します。選択したドライブは、次のブート時に安全に消去されます。	ドライブを選択し、設定を保存します。
ワンタイムブートメニュー	システムユーティリティのメイン画面	ワンタイムブートのオーバーライドに対する UEFI ブートオプションを選択します。	構成に応じて異なる
ワンタイムブートメニュー (F11 プロンプト)	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > ワンタイムブートメニュー (F11 プロンプト)	現在のブート時に、F11 キーを押してワンタイムブートメニューに直接ブートできるかどうかを制御します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
便宜的セルフリフレッシュ	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプション > 便宜的セルフリフレッシュ	メモリ使用率が低い期間に、メモリコントローラーがセルフリフレッシュモードに入れるようになります。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
PCI バスパディングオプション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンストオプション > アドバンストシステム ROM オプション > PCI バスパディングオプション	デフォルトの PCI バスパディングを有効または無効にします。これは、各拡張スロットに追加の PCI バス番号を付与する機能です。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
PCI デバイス	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > PCI デバイス構成	内蔵 PCI デバイスとアドイン PCI デバイスを有効または無効にし、構成設定を設定します。	デバイスに応じて異なる
PCIe 分岐	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > PCIe デバイス構成 > アドバンスト PCIe 構成 > PCIe 分岐オプション	各 PCIe スロットの分岐オプションを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動 ・ 分岐 ・ デュアル分岐
PCIe スロットネットワークブート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ネットワークオプション > ネットワークブートオプション > PCIe スロットネットワークブート	PCIe スロット内の NIC カードの UEFI PXE ブートを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
PCIe ストレージブートポリシー	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ストレージオプション > PCIe ストレージブートポリシー	PCIe スロット内のストレージコントローラーの UEFI BIOS ブートターゲットを選択します。	構成に応じて異なる
不揮発性メモリ	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプション > 不揮発性メモリオプション	永続性メモリオプションを構成します。	構成に応じて異なる
HPE スケーラブル不揮発性メモリ	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプション > スケーラブル不揮発性メモリオプション	スケーラブル永続性メモリオプションを構成します。	構成に応じて異なる
POST F1 プロンプト	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > サーバー可用性 > POST F1 プロンプト	サーバーの POST 画面での F1 キーの表示方法を構成します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20 秒の遅延 ・ 2 秒の遅延 ・ 無効
電源ボタンモード	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > サーバー可用性 > 電源ボタンモード	電源ボタンを一瞬押す機能を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
電源投入遅延	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > サーバー可用性 > 電源投入遅延	指定した時間にサーバーの電源をオンにすることを遅らせるかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遅延なし ・ ランダムに遅延 ・ 15 秒遅延 ・ 30 秒遅延 ・ 45 秒遅延 ・ 60 秒遅延
パワーレギュレーター	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > パワーレギュレーター	電力プロファイルをカスタムに設定している場合、パワーレギュレーターモードを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダイナミックパワーセービングモード ・ スタティックローパワーモード ・ スタティックハイパフォーマンスモード ・ OS コントロールモード
プリブートネットワーク設定	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ネットワークオプション > プリブートネットワーク環境	ネットワークブートターゲットが UEFI ブート順序リストに表示される方法を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動 ・ IPv4 ・ IPv6

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
プロセッサ AES-NI 有効	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > プロセッサ AES-NI 有効	プロセッサ内の高度暗号化標準命令セットを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効 ・ 強制的に有効
プロセッサプリフェッチャーオプション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > プロセッサプリフェッチャーオプション	ほとんどの環境に最適なパフォーマンスを提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ HW プリフェッチャー 隣接セクターのプリフェッチャー ・ DCU ストリームプリフェッチャー ・ DCU IP プリフェッチャー ・ XPT プリフェッチャー
プロセッサ x2APIC サポート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > プロセッサオプション > プロセッサ x2APIC サポート	x2APIC サポートを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効 ・ 強制的に有効
製品 ID	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンストオプション > アドバンストサービスオプション > 製品 ID	システムボードを交換した後の製品 ID 番号を指定します。	なし
システムを再起動する	システムユーティリティのメイン画面	システムを再起動します。	なし
冗長電源装置モード	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > アドバンスト電力オプション > 冗長電源装置モード	電力プロファイルをカスタムに設定している場合、システムが冗長電源装置の構成をどのように取り扱うかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ バランスモード ・ 高効率モード (自動) ・ 高効率モード (奇数サプライがスタンバイ) ・ 高効率モード (偶数サプライがスタンバイ)

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
取り外し可能フラッシュメディアブート順序	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > USB オプション > 取り外し可能フラッシュメディアブート順序	ブートデバイスを列挙するときに、最初に検索する USB デバイスまたは SD カードデバイスを選択します。	<ul style="list-style-type: none"> 内部 SD カードを最初 内部ドライブキーを最初 外部ドライブキーを最初
すべてのキーをプラットフォームのデフォルトにリセット	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > セキュアブート設定 > アドバンスドセキュアブートオプション > すべてのキーをプラットフォームのデフォルトにリセット	すべてのキーをプラットフォームのデフォルトにリセットします。	なし
工場デフォルト設定の復元	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムデフォルトオプション > 工場デフォルト設定の復元	すべての BIOS 構成設定を工場デフォルト値にリセットして、不揮発性のすべての UEFI 変数を削除します。	<ul style="list-style-type: none"> いいえ、復元の操作を中止します。 はい、デフォルト設定を復元します。
システムデフォルト設定の復元	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムデフォルトオプション > システムデフォルト設定の復元	すべての BIOS 構成設定をデフォルト値にリセットし、直ちに、かつ自動的にサーバーを再起動します。	<ul style="list-style-type: none"> いいえ、復元の操作を中止します。 はい、デフォルト設定を復元します。
ROM の選択	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンスドオプション > ROM の選択	冗長 ROM を搭載するサーバーで、サーバーを以前の BIOS ROM イメージに戻します。	<ul style="list-style-type: none"> 現在の ROM を使用 冗長 ROM の選択
SATA セキュア消去	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > SATA コントローラーオプション > SATA セキュア消去	SATA セキュア消去機能を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> 有効 無効
ブート可能な論理ドライブの選択	システム構成 > <controller> > レガシーブートモードにブート可能なデバイスを設定します > ブート可能な論理ドライブの選択	プライマリまたはセカンダリブート可能デバイスとして論理ドライブを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> プライマリブートデバイスとして設定 セカンダリブートデバイスとして設定
言語の選択	システムユーティリティのメイン画面	システムで使用される言語を選択します。	なし

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
シリアル番号	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンストオプション > アドバンストサービスオプション > シリアル番号	システムボードのシリアル番号を表示します。	なし
サービスコンタクト情報	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > サーバー資産情報 > サービスコンタクト情報	サーバー管理者のサービス連絡先情報を指定します。	なし
管理者パスワードの設定	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > 管理者パスワードの設定	管理者パスワードを設定します。	なし
電源投入時パスワードの設定	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > 電源投入時パスワードの設定	ブートプロセス中にサーバーにアクセスするためのパスワードを設定します。	なし
サーバー情報	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > サーバー資産情報 > サーバー情報	サーバー管理者に関する参照情報を指定します。	なし
サーバー構成ロック	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > サーバー構成ロックの設定	サーバー構成ロック機能のオプションを構成します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ サーバー構成ロックのチャレンジが必要：有効または無効を選択します。 ・ システムのトランスポートの準備：有効または無効を選択します。 ・ サーバー構成ロックの障害検出時に停止：有効または無効を選択します。
セットアップブラウザの選択	システムユーティリティのメイン画面	システムユーティリティにアクセスするときに使用するブラウザのタイプを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ GUI ・ テキスト ・ 自動
シェル自動起動スクリプトロケーション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 内蔵 UEFI シェル > シェル自動起動スクリプトロケーション	内蔵 UEFI シェル起動スクリプトの場所を指定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動 ・ 接続メディアのファイルシステム ・ ネットワークの場所

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
シェルスクリプトの検証	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 内蔵 UEFI シェル > シェルスクリプトの検証	シェルスクリプトの検証を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
SR-IOV	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 仮想化オプション > SR-IOV	BIOS が PCIe デバイスに、より多くの PCI リソースを割り当てることを有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
Sub-NUMA クラスタリング	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > Sub-NUMA クラスタリング	プロセッサのコア、キャッシュ、メモリを複数の NUMA ドメインに分割します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
System Health	システムユーティリティのメイン画面	システム内のすべてのデバイスのヘルステータスを表示します。	なし
システム情報	システムユーティリティのメイン画面	システム情報を表示します。	なし
システム侵入検知	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > システム侵入検知	システム侵入検知を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
温度構成	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンスドオプション > ファンと温度のオプション > 温度構成	システムのファン冷却方法を選択します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最適な冷却 ・ 増強した冷却 ・ 最大冷却
高温シャットダウン	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンスドオプション > ファンと温度のオプション > 高温シャットダウン	非冗長ファンモードでファンに障害が発生した場合にシステムをシャットダウンするように構成します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
TPM FIPS モードスイッチ	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > アドバンスドオプション > TPM FIPS モードスイッチ	TPM 操作で連邦情報処理標準を使用するかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 操作なし ・ 通常モード ・ FIPS モード
TLS (HTTPS) オプション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > TLS (HTTPS) オプション	TLS 証明書の詳細設定の表示、登録、削除、エクスポート、リセット、選択に関するオプションを提供します。	構成に応じて異なる

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
Trusted Platform Module オプション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > Trusted Platform Module オプション	Trusted Platform Module (TPM) を使用するサーバーで、構成オプションを設定します。	構成に応じて異なる
UEFI ブート順序	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ブートオプション > UEFI ブート設定 > UEFI ブート順序	UEFI ブート順序リスト内のエントリーのブート順序を変更します。	構成に応じて異なる
UEFI ブート順序制御	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ブートオプション > UEFI ブート設定 > UEFI ブート順序制御	個々の UEFI ブートオプションを有効または無効にします。	構成に応じて異なる
UEFI 最適化ブート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ブートオプション > UEFI 最適化ブート	システム BIOS をネイティブの UEFI グラフィックドライバを使用して起動するかどうかを制御します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
UEFI POST 検出モード	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > ブート時間最適化 > UEFI POST 検出モード	システムが UEFI デバイスドライバーをロードする方法を制御します。	
UEFI シェル自動起動スクリプト	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 内蔵 UEFI シェル > UEFI シェル自動起動スクリプト	シェル起動中の内蔵 UEFI シェル起動スクリプトの自動実行を有効または無効にします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
アンコア周波数のスケーリング	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > 電力およびパフォーマンスオプション > アンコア周波数のスケーリング	プロセッサの内部バス (アンコア) の周波数のスケーリングを制御します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動 ・ 最大周波数または最小周波数
USB ブートサポート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > USB オプション > USB ブートサポート	サーバーが接続されている USB デバイスから起動できるかどうかを構成します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
USB 制御	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > USB オプション > USB 制御	起動時の USB ポートと内蔵デバイスの動作を構成できます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ すべての USB ポート有効 ・ すべての USB ポート無効 ・ 外部 USB ポート無効 ・ 内部 USB ポート無効

表は続く

オプション	システムユーティリティのメニューパス	使用方法	設定
ユーザーデフォルトオプション	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムデフォルトオプション > ユーザーデフォルトオプション	構成をカスタムデフォルト構成として保存または消去します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユーザーデフォルトの保存 ・ ユーザーデフォルトの消去
証明書を表示	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > TLS (HTTPS) オプション > 証明書を表示	TLS 証明書の詳細を表示します。	なし
システムヘルスの表示	システムヘルス > システムヘルスの表示	システム内のすべてのデバイスのヘルスステータスを表示します。	なし
仮想シリアルポート	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > シリアルポートオプション > 仮想シリアルポート	仮想シリアルポートで使用する論理 COM ポートと関連デフォルトリソースを割り当てます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ COM 1 ・ COM 2 ・ 無効
VLAN の構成	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ネットワークオプション > VLAN の構成	有効なすべてのネットワークインターフェイスにグローバルな VLAN 構成を設定します。	VLAN 制御 <ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 (VLAN ID および優先順位の設定) ・ 無効
ウェイクオン LAN	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > サーバー可用性 > ウェイクオン LAN	WOL 対応 NIC を使用してリモートでシステムに電源を投入できるかどうかを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有効 ・ 無効
ワークロードプロファイル	システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > ワークロードプロファイル	アプリケーションワークロードの電力およびパフォーマンスの設定を設定します。	構成に応じて異なる。

Web サイト

全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<http://www.hpe.com/info/EIL>

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) ストレージ互換性マトリックス RESTful インターフェイスツールのドキュメント

<http://www.hpe.com/storage/spock>

ストレージのホワイトペーパーおよびアナリストレポート

<http://www.hpe.com/storage/whitepapers>

UEFI の仕様

<http://www.uefi.org/specifications>

UEFI の学習資料

http://www.uefi.org/learning_center

RESTful API ツール

<http://www.hpe.com/info/redfish-ja>

Hewlett Packard Enterprise Worldwide の連絡先

<http://www.hpe.com/assistance>

サブスクリプションサービス/サポートのアラート

<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

Software Depot

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

カスタマーセルフリペア

<http://www.hpe.com/support/selfrepair>

Insight Remote Support

<http://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs>

上記以外の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

サポートと他のリソース

Accessing Hewlett Packard Enterprise Support

- ・ For live assistance, go to the Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide website:
<http://www.hpe.com/info/assistance>
- ・ To access documentation and support services, go to the Hewlett Packard Enterprise Support Center website:
<http://www.hpe.com/support/hpesc>

Information to collect

- ・ Technical support registration number (if applicable)
- ・ Product name, model or version, and serial number
- ・ Operating system name and version
- ・ Firmware version
- ・ Error messages
- ・ Product-specific reports and logs
- ・ Add-on products or components
- ・ Third-party products or components

アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<http://www.hpe.com/support/downloads>

Software Depot

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- ・ お客様の資格を表示したりアップデートしたり、契約や保証をお客様のプロファイルにリンクしたりするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>

- ❶ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE プロアクティブケアサービス : サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンスドサービス : サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecareadvancedsupportedproducts>

保証情報

ご使用の製品の保証に関する情報を表示するには、以下のリンクを参照してください。

HPE ProLiant と IA-32 サーバーおよびオプション

<http://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE Enterprise および Cloudline サーバー

<http://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<http://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<http://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/environment>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。